

# ふれあい 看護体験を 開催しました

ICU 看護師長 北野 尚巳



毎年5月12日は「看護の日」です。21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を私たち一人ひとりが分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わず誰でも認識するきっかけとなるよう、旧厚生省により「看護の日」が1990年に制定されました。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日となりました。この日を含む週の日曜日から土曜日までが、「看護週間」です。メインテーマは「看護の心をみんなの心に」で、気軽に看護にふれていただける楽しい行事が、全国各地で行われました。その一環として多くの地域で「ふれあい看護体験」があり、見学や簡単な看護体験、関係者と交流するイベントが行われました。

当院では5月13日(土)に「ふれあい看護体験」を開催し、高校生36名が参加しました。ほとんどは県内からでしたが、今年は広島からの参加もありました。

開会の挨拶で、山本院長は「今後AIの技術で職業が失われるものもある。しかし、人間でないといけないものはなくなる。医療は人と人との関わりでニーズが高まっている職業ではないか」と話し、次に榎田看護部長から病院の機能や済生会の成り立ち、当院の概要、看護体制や看護活動につ

いての説明がありました。

その後4グループに分かれ、ヘリポート、緩和ケア病棟、小児病棟、周産期センター、救急センター、患者サポートセンターを見学しました。見学後は各病棟に分かれて看護ケアの体験を看護師とともに行いました。初めは患者さんに話しかけるのも緊張した様子でしたが、清拭や足浴を行って、患者さんから感謝の言葉をいただき、うれしそうな笑顔が印象的でした。

昼食は当院の栄養科が患者食の常食(何も制限がない食事)を準備しました。日々安全な食事を作ることや、チーム医療の中で医師や看護師と話し合いながら栄養状態の改善や食事指導を行っていることを小野管理栄養士が説明しました。また、調理師も同席し、患者一人ひとりのことを考えて作るよう心がけていると話していました。参加者は食事に対する工夫や苦労などに驚いていました。「病院食もおいしい」といった声もありました。

午後からは、各病棟の看護体験で関わった看護師も参加し、その日体験したことや疑問に思ったことなど意見交換を行いました。「看護師の仕事の大変さややりがいを知ることができた」「洗髪をする時の患者さんへの気遣いがよくわかった」





「貴重な体験ができた」という声が多く聞かれました。「看護師や他の職員も優しく接してくれ、感銘を受けた。岡山済生会総合病院への興味や関心が高まり、看護師になりたいという意思がますます強くなった」という参加者もいました。当院の看護師からも「そういった感想を聞くことで、自分たちの看護の振り返りができ、うれしかった」という感想があり、とてもよい交流会ができました。

最後に岡山済生会看護専門学校の河野副校長から「看護への道」というテーマで看護専門学校の特徴や教育課程についての話がありました。実際の看護学生のレポートを元に、実習は大変ではあるけれど、学生の患者を思う気持ちは患者さんに伝わっていて、気遣いや心遣いのできる人間としての成長も大きいという話でした。

昨年の当院でのふれあい看護体験への参加者41名のうち7名が、今年岡山済生会看護専門学校に入学しているそうです。「ふれあい看護体験」が看護の仕事の理解につながり、看護師を目指す一つのきっかけになってくれればと思います。現在は男性の看護師も多くなっています。興味、関心のある方は、ぜひ参加してみてください。来年も多くの方の参加をお待ちしています。

## ふれあい看護体験

スケジュール 8:50～14:00

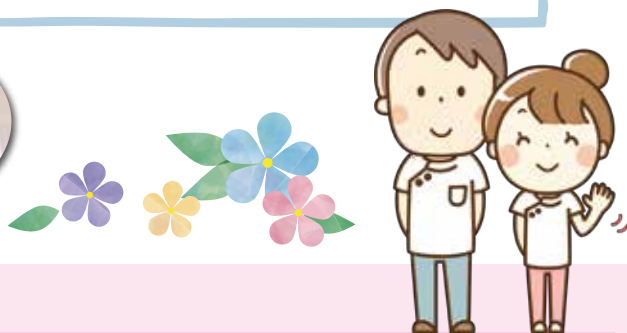
1. 山本院長あいさつ
2. 槌田看護部長から病院の概要説明
3. 病院見学
4. 病棟で看護体験
5. 昼食
6. 交流会
7. 看護学校の河野副校長から「看護への道」についての話



## 病院食メニュー

- ゆかりご飯
- 魚のみりん焼き
- なすの炒め煮
- かぼちゃサラダ
- 梅れんこんサラダ
- カーネーションをあしらった和菓子

エネルギー 約700kcal  
たんぱく質 26g 塩分 2.5g



## 看護師を募集しています

看護部では、岡山県内外の学校訪問や就職説明会をとおり、看護師の募集を行っています。岡山済生会総合病院と一緒に働きませんか。興味のある方は人事課までぜひご連絡ください。

TEL:086-252-2780(人事課直通) 平日8:30～17:00の間にお電話ください。